

消防車の管理体制と維持費は

消防車は消防団に配属し、団長の指揮によって団員が管理している。車検に要する経費や修繕費などは、町が負担している。

自治会役員への処遇

総務員以外の協力者の処遇について

町行政を円滑にすすめるため、各地区の総務員には、

自治会の規模に応じた報酬を支払っている。班長さんなどの処遇については、各自治会で検討をお願いしたい。

自治会費の指導

区費（自治会の会費）の徴収について町が指導すべきと思うが

区費は、各自治会が、地域の実情に照らして決めているので、町が指導すべき立場ではないと思う。

生きた英語教育を推進

外人教師の採用

外人英語先生の採用と今後の考えは

外人英語講師は、AET（アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー）制度により、郡市単位で採用しており、郡内市町村のバランスをとりながら指導を受けている。生きた英語教育と国際化社会への対応などを考慮し、今後



チャールズ・ベッカーさんの英語指導(横芝中)

も積極的に取り組みたい。

大豆の高度利用



公民館で行われている味噌づくり
あなたも挑戦してみてください

減反政策のなかで、転作物としての大豆の高度利用と開発は

採算面だけで論議はできないが、国内産大豆は質もよく、生活改善グループを中心に味噌づくりが盛んに行われている。規模は小さいが、今後、付加価値をつけた味噌づくりをすすめるために協力を惜しまない。

サラリーマンに親睦団体を

サラリーマンの親睦団体結成指導について
親睦団体の結成は、個人

間の意志に基づいてグループ化されるものであって、行政が主導的立場をとるべきではない。

町では、町民の憩いの場として、文化会館や海洋センターをはじめ、坂田池周辺の公園化など、各種事業を行っている。今後も事業をすすめていくので、これらの施設を活用し、親睦を深めてほしい。

高齢者の雇用対策

60歳以上で再就職を求めている人の雇用対策は

働く意志のある人に職場を確保することは重要な施策と思う。しかし、現状は、雇用主が退職者に関連会社等を



沿岸部の観光拠点 横芝海の子どもの国

紹介し、就職させているのがほとんどと聞いている。今後福祉課を中心に、関係機関と協調して、高齢者の雇用対策を検討したい。

防犯灯の増設

学童を犯罪から守るため防犯灯の増設を

地元で設置していただくことが原則だが、幹線道路や集落から離れた通学道路等は町が計画的に設置している。犯罪の未然防止のために、財政の許す限り予算を投入していく。

子どもの国プールの年間活用

子供の国のプールの有効利用（オフシーズンにローラースケートなど）を

夏2か月間だけでなく、1年間を通しての活用が考えられていたが、県内各所にレジャー施設ができてきたこともあり、行楽客が減ってきている。県の管理施設ではあるが、沿岸部の観光開発とのかわりをも含め、検討していく。